

地域連携学 C

福島県川俣町山木屋地区における
復興フィールドワーク

福島県川俣町山木屋地区



- 川俣は、慶長年間（1596年～1614年）から生糸や絹織物取引の市が立ち、国内で有数の絹織物産地に発展し、明治・大正・昭和の時代には輸出花形商品の羽二重を織り出した

- 2011年3月11日に発生した東日本大震災による津波被害、その結果起こった福島第一原子力発電所の爆発事故による放射線被害
- 福島県伊達郡川俣町は津波被害こそなかったものの多くの避難民を受け入れる
- 町内の山木屋地区は放射能汚染により2017年3月までの6年間、避難区域に指定され居住が制限された

福島県川俣町と総合政策学部

- 2012年9月 シンポジウム「震災・原発と私たち—安全という神話にどう向き合う—」開催
 - 川俣町町長 古川道郎氏、川俣町職員 宮地勝志氏（日進市から出向・当時）をお招きし実施
- 2013年8月 川俣町表敬訪問および福島県震災復興調査
- 2014年1月 シンポジウム「持続可能なコミュニティの形成を目指して—福島に学ぶ—」開催
- 2015年11月 第2回福島県震災復興調査（山木屋地区ほか）
 - 山木屋地区は、当時、避難指示解除準備区域

- 2016年4月～7月 総合政策d 1年目 (44名受講)
 - テーマは「福島問題から未来を構想する」
- 2016年8月 第3回福島県震災復興調査 (学生5名参加)
- 2017年4月～7月 総合政策d 2年目 (14名受講)
- 2017年8月 第4回福島県震災復興調査 (学生8名参加)
- 2018年8月 地域連携学C (学生14名参加)
- 2018年11月 地域連携学C報告会 (学生9名参加)
- 2019年2月 フォーラム「帰還後から事故後の暮らしを振り返りつつ展望する」開催
- 2019年8月 地域連携学C (学生16名参加)
- 2020・2021年度は新型コロナ予防のため中止
- 2022年度 地域連携学C再開
- 2023年度 地域連携学C (学生18名参加)
- 2024年度 地域連携学C (学生13名参加)

地域連携学C 実施概要

1. 授業の目標

- 復興の現状と力強く生きていくことの意味を実感する
 - 避難指示が解除され復興の歩みを進めている川俣町山木屋に赴き、山木屋をまるごと体験することや地域の方々との交流を通して復興の現状と力強く生きていくことの意味を実感する
 - 福島第一原子力発電所の事故処理状況を見学する
- 3泊4日のフィールドワークを行うので、教室での学びでは得られない経験ができ、様々な成長が期待できる

2. 期間・場所・参加費・引率

- 研修期間
 - 2025年8月24日（日）～8月27日（水）（3泊4日）
- 研修場所
 - 福島県伊達郡川俣町山木屋地区および福島第一原子力発電所周辺
 - 宿泊場所 おじまふるさと交流館 福島県伊達郡川俣町大字小島字町畑12番地
- 参加費
 - 宿泊費 6,270円
 - 交通費（バス代）12,000円（不足分は大学後援会の支援）
 - 食費は実費（15,000円程度・現地精算）
- 引率者
 - 総合政策学部 岩田和男客員教授、村田尚生教授 教養部 松井真一准教授

3. 定員・申込方法

- 募集定員
 - 20名（先着順、初めての人優先）
- 申込方法
 - 6/30（月）13時～7/9（水）13時
定員になり次第締め切り
 - 右のQRコードから申込
- 福島第一原子力発電所見学
 - 短時間ですが放射線量の高い区域に入ります。構内の見学を辞退する場合は申込時に申し出るようにお願いします。
 - 構内の見学を辞退しても、廃炉資料館の見学は可能です。



4. 内容・スケジュール

- 8月8日（金） 13:30～16:00 事前学習 原発事故に関する学習 日進キャンパス12号館G106教室
- 8月24日（日）
 - 07:00頃 愛知学院大学出発
 - 16:30頃 福島県・川俣町「おじまふるさと交流館」着
 - 川俣町紹介（佐々木大記さん）
 - 講話「浪江町民の私とフクイチ、川俣、山木屋」（戸川謙一さん） ※フクイチ：福島第一原子力発電所
 - 18:45頃 夕食（おじま）
 - 22:00頃 就寝
- 8月25日（月）
 - 07:00頃 朝食（おじま）
 - 07:50頃 出発
 - 09:20頃 廃炉資料館着
 - 福島第一原子力発電所視察
 - 12:15頃 昼食（クマSUNテラス）
 - 13:15頃 原発周辺地域の語り部のお話し
 - 15:30頃 CREVAおおくま（産業交流施設）見学（協力 一般社団法人大熊未来塾代表 木村紀夫さん）
 - 16:30頃 山木屋へ出発
 - 18:00頃 夕食（やまこや）
 - 22:00頃 就寝

- 8月26日（火）

- 07：00頃 朝食（おじま）
- 08：00頃 出発
- 08：20頃 トイレ休憩、水分確保（とんやの郷）
- 08：40頃 山歩き、放射線測定（高太子山、協力：菅野福明さん、吉村弘子さん）
- 12：30頃 昼食（山木屋公民館）
- 13：50頃 ばちぎ農園の農場視察、野菜収穫（協力：ばちぎ農場 宮地勝志さん）
- 15：15頃 帰還後の暮らしについての語り（渡邊とくいさん（山木屋住民））
- 16：30頃 ピザ調理（山木屋公民館）、夕食
- 20：30頃 おじまふるさと交流館へ出発
- 22：00頃 就寝

- 8月27日（水）

- 07：00頃 朝食
- 08：00頃 出発
- 10：00頃 道の駅ふくしま
- 11：00頃 愛知学院大学へ出発
- 19：30頃 愛知学院大学着

- 10月25日（土）午前中 愛学祭での報告会

5. 評価方法

- ① 積極的参加 40%
- ② 報告書（エスノグラフィー） 30%
 - 研修中フィールドノートをつけ、報告書（エスノグラフィー）を作成し提出
- ② 報告会での発表 30%
 - 愛学祭（10月25日）のときに報告会で発表

6. 事前講習会の案内

- 以下の日程で、この研修を有意義なものにするための事前講習会を行います。
- 可能な限り参加するようにしてください。

日時：8月8日（金）午後13時30分～16時ごろ

場所：日進キャンパス12号館G106教室

これまでの地域連携学C 山木屋研修の様子

• 2018年度



• 2019年度



• 2022年度





• 2023年度



• 2024年度

